

『きもの』文化の伝承と発信のための 教育プログラムの開発

「きもの」の着装を含む体験学習と海外への発信

プロジェクトメンバー

横浜国立大学・教育人間科学部・准教授

薩本弥生,

埼玉大学・教育学部・教授

川端博子

横浜国立大学・教育人間科学部・教授

堀内かおる,

茨城キリスト教大学・生活科学部・准教授

扇澤美千子

山梨県立大学・人間福祉学部・教授

斎藤秀子,

大妻女子大学・短期大学部・教授

呑山委佐子

1. 研究の目的

本研究の目的は、日本の「きもの」文化を次世代に伝承すること、世界へ発信することを意図して、教育プログラムの開発と授業支援を行うことである。

新学習指導要領においても伝統や文化に関する教育の充実が求められている。本研究では家庭科の「きもの」着装による体験学習を通して、子どもたちの心に日本の「きもの」文化を尊重し継承・発展させようとする芽を育てていく。また、グローバル化に対応し、「きもの」を通じた日本理解と文化交流の促進に貢献していく。



3. 授業研究用教材、着装ビデオ作成

男女ひとえ長着(浴衣)の着装・たたみ方のDVDの作成及び浴衣の文化についてテーマ学習の教材作成を予定している。着装DVDは、大妻女子大学総合情報センターメディア教育開発センターで、7月に撮影を実施し、8月に日本語版、9月に英語版ナレーションの録音、9~10月に編集を行い、男女浴衣の着装・たたみ方DVDは完成した。



完成DVD

編集作業

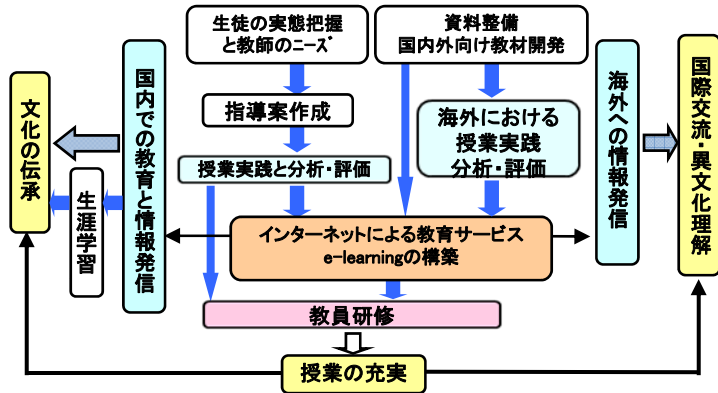
5. 海外での着装ビデオを用いた浴衣着装の実践

2009年10月にイギリスのラフバラにおもむき、日本人会およびラフバラ大学のDepartment of Design & Technology の共同研究者Zanker氏の協力により、現地の大学生および社会人対象に授業研究の準備段階として ①日本の伝統文化に関するアンケート ②開発した英語版着装ビデオを用いた浴衣の着装体験 ③ビデオの評価 ④着装後の着装感についてのアンケートを行った。



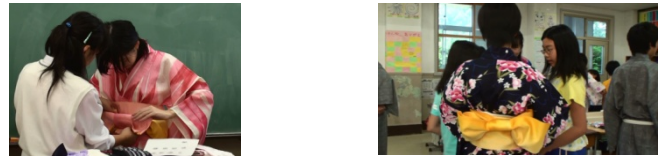
2. 研究の概要

- 「きもの」文化の伝承と発信のための教育プログラム・教材(DVD等)の開発
- 国内・海外での教育環境の整備と授業実践・インターネットによる教育サービスの構築
- 本教育プログラムを題材とする教員研修の実施



4. 浴衣を題材とした日本での授業研究の実施

浴衣を題材とした授業研究の一環で、7月~10月には協力校の一つ、横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校において葛川幸恵教諭が授業実践し、授業実践研究に着手した。第1学年を対象に、6月~7月に被服の役割・自分らしい着装について学んだことを踏まえ、洋服とは異なる和服の特性に着目し、浴衣の着付けを行った。



6. 今後の研究計画

今後、これまでの実践をさらに発展させて授業研究の内容の充実を図る。

- 教材開発**
 - ・テーマ学習のためのテキスト教材の開発
 - ・インターネットによるe-Learning教育環境の整備
- 授業研究**
 - ・授業実践と分析・評価
 - ・本教育プロジェクトを題材とする教員研修の実施
- 海外発信**
 - ・海外における協力校の選定と授業実践の内容の検討
 - ・海外での授業実践と分析・評価